

2019(令和元)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
島ヶ原地域部会 議事概要

■開催日時 2019(令和元)年11月25日(月)
午後7時～午後8時30分

■開催場所 島ヶ原会館

■出席者 (敬称略)

【委員】

松永 享二(島ヶ原地域まちづくり協議会会長)、川口 文克(島ヶ原地域まちづくり協議会副会長)、山菅 善文(島ヶ原地域まちづくり協議会事務局長)、奥川 繁也(大道区長)、平井 喜美男(奥村区長)、吉谷 正宣(中村区長)、山出 良一(町区長)、菅 幸政(山菅区)、川本 寛一(川南区長)、松森 卓見(中矢区長)、上原 孝浩(不見上区長)、南出 藤作(島ヶ原地域まちづくり協議会産業生活部会部会長)、山菅 善宣(島ヶ原地域まちづくり協議会広報宣伝部会部会長)

【事務局】

交通政策課 課長 福岡 秀明、副参事 吉岡 徹也、
主幹 坂森 荘平、主査 吉福 将徳

島ヶ原支所 振興課 課長 田中 佳隆

■傍聴者 0人

■会議概要

1. 開会

交通政策課長挨拶

2. 部会長、副部会長の互選について

(互選結果・敬称略)

部会長 松永 享二(島ヶ原地域まちづくり協議会会長)

副部会長 川口 文克(島ヶ原地域まちづくり協議会副会長)

3. 協議事項

(1) 行政バスへの回数券及び定期券の導入について

事務局から資料1に基づき説明

【質疑応答】

部委員	初めて導入する制度か。
事務局	今まで現金払いのみの扱いでしたが、不便だとのご意見をいただいております、利便性が向上できればと考えています。

部委員	どこで扱うのか。
事務局	各支所、本庁、ハイトピア伊賀1階の三重交通営業所です。
部委員	障害者手帳の提示はいつするのか。
事務局	購入時に提示いただきます。
部委員	島ヶ原で買った分は、他の地区の行政バスでも使えるのか。
事務局	使っていただけます。汎用性を広げることを意図しています。

【承認】

(2) 伊賀市地域公共交通網形成計画に基づく廃止代替バス路線の再編について

事務局から資料2に基づき説明

【質疑応答】

部委員	今日納得いかないとなると、どうなるのか。
事務局	理由もいただきながら、本協議会へそのことを示していくこととなります。
部委員	結論ありきなのか。
事務局	本協議会への提案自体は変わりませんが、こういうご意見をいただいたということを本協議会へ報告することになります。
部委員	平成26年に一度廃止代替バスや行政バスについて検討したが、その後検討していない。 今回の改編で小田町へ買い物に行く利便性は考えてもらったが、西山は便利で島ヶ原は不便という状態だ。これまでの経緯を説明してほしい。
事務局	西山線・島ヶ原線はもともと廃線のつもりでしたが、統合と合理化により残していける見通しが出てきました。なんとか残したいという気持ちで取り組んでいます。学生の利用が現在無く、このまま政策なしで進めると、3年後には廃止になってしまいます。
部委員	これまでの協議で、出た意見に対して返しが無いように思うので、きちんと返してほしい。地域の意見を大切にしてほしい。また、行政バスはどうしていったらいいのか。何か提案はないのか。
事務局	情報提供しながら進めていきますので、ご協力をお願いしたい。地域では、どういう行政バスを求めていくかについて全組員にアンケートを取る等して考えてほしい。どうすれば乗っていただけるのか、住民の何パーセントが乗るのかということを示していただきたい。その上で、行政バスは支所が担当なので、支所まで言っていただきたい。

部委員	西山線と島ヶ原線を統合して距離や料金はどうなるのか。
事務局	距離は18.4kmになり現在より伸びますが、料金は変わりません。
部委員	西山は8便走るのか。
事務局	通学利用があり、いくつかの時間帯をおさえるためそれだけの便数が必要になります。
部委員	地域部会がずっとあるにもかかわらず、廃止代替バスや行政バスを充実させてというあたりを今日のメンバーは知らない。
事務局	地域部会は、あがってきた議案を審議する場所で、ゼロから案を練り上げる場所ではありません。島ヶ原地区内の廃止代替バス・行政バスの整理については、話が止まっていると聞いています。 過去にまちづくり協議会へどうしますかと投げかけてありましたが、何も返しがありませんでした。今年2月には、バスについて説明に来てもらいたいと言われていましたが、利用者の見込み等、数字を示していただかないと、路線は変えられないと言わせていただきました。
部委員	行政バスと島ヶ原線を一緒に活性化するため検討すると、1回そうしたのならそうすべきだ。島ヶ原線だけ検討するのはおかしい。
事務局	自治協会長からは、行政バスは変えないと聞きましたので、今回のかたちで進めさせていただきました。
部委員	例えば、高校生が通学に使える時間設定にすれば、数値は改善の見込みがあるのか。
事務局	利用実績の数値は、一般的に見て低い数値と思います。現在の平均乗車密度0.7というのは、公共交通として成り立っていない状況です。
部委員	行政バスを上野市駅まで延長するとかできないのか。
事務局	行政バスは、基本的に島ヶ原地区を巡回するバスとして考えています。また、今走っている交通事業者の路線と重複すると、国土交通省の許可を受けることが難しくなります。
部委員	運転士の要らないバスとか伊賀市ではどうか。
事務局	新しい交通手段については、次の地域公共交通網形成計画には入れたいと考えています。三重交通から運転士が不足しているとも聞いていますので、今後、研究をしながら進めていきたいと考えています。
部委員	必ず今言った意見を本協議会へ伝えていただきたい。地域部会へ先に話をしておくべきと思う。今日初めて聞かされた。
事務局	まちづくり協議会へ改編案をお示しして、承認をいただいたと考

	えています。
部委員	まちづくり協議会と地域部会、どちらに決定権があるのか。
事務局	今回の改編に際しましては、沿線のまちづくり協議会・住民自治協議会の皆様のご意見を伺っています。全般の意見を伺って、市の方針が定まります。島ヶ原地区が改編案はだめと言われるのであれば、ご意見として本協議会へ報告していきたいと思えます。
部委員	全部のまち協・自治協が反対か。
事務局	反対という意見はありませんでした。
会 長	異議ありということで結論としてよろしいか。(一同、賛成)
事務局	行政バスと廃止代替バス島ヶ原線を一体として検討すべきとされたら、ご意見として伝えさせていただきます。

【不承認】

4. 報告事項

- ・(仮称)第2期伊賀市地域公共交通網形成計画の策定について
事務局から資料3に基づき説明

【質疑応答】

なし

5. その他

【質疑応答】

なし

(以上)